



カメはこうらを取ったらどうなるの

カメのこうらは取れない

カメのこうらは、マンガなどで、スポンとぬげるようにかかれています。但实际上には、ぬげません。なぜかという、カメのこうらは、背骨とくっついて一つになっているからです。ヤドカリのように、ふにゃふにゃした体の外側に、貝殻をかぶっているのとは、ぜんぜん、作りがちがうのです。

カメのこうらは、背骨で支えられている

カメの体は、背骨の背側が、ドームの天井のように丸く曲がって、こうらの真ん中を通っています。背骨のろっ骨は、横に長く張り出し、丸い背中のこうらを支える役目をしています。こうらは、人間のつめや、ワニなどのうろこをつくっているのと同じ、角質でできています。この角質の下に、かたい骨でできた厚い骨質層があり、これらが、背骨の上にくっついていて、

カメの体は、かたいはこ

こうらは、背側から広がったものと、腹側からのものが、前足と後ろ足の間でくっついた、このような形をしています。このはこに、のびぢぢみする皮ふでつながった、手足や頭、しっぽがついていません。(監修・杉浦 宏)

